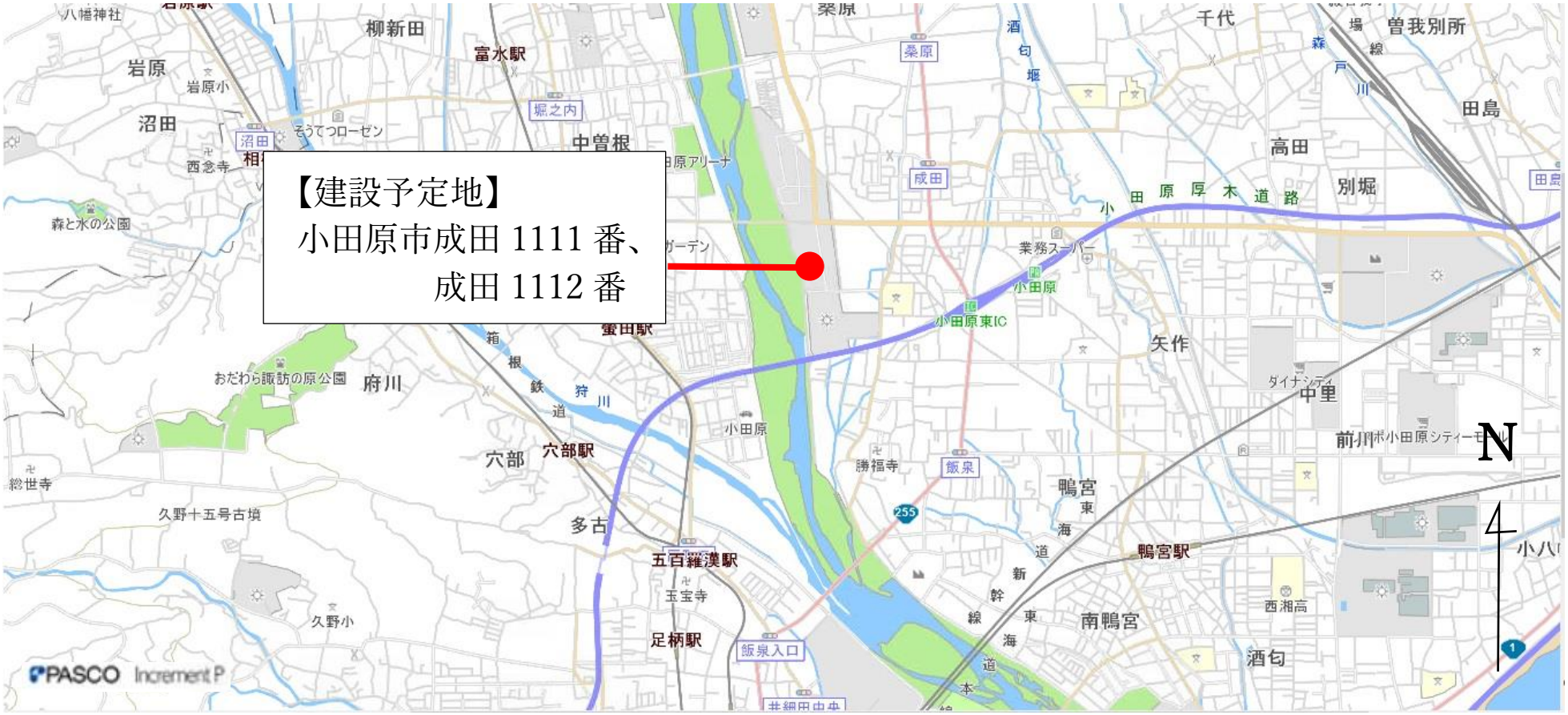
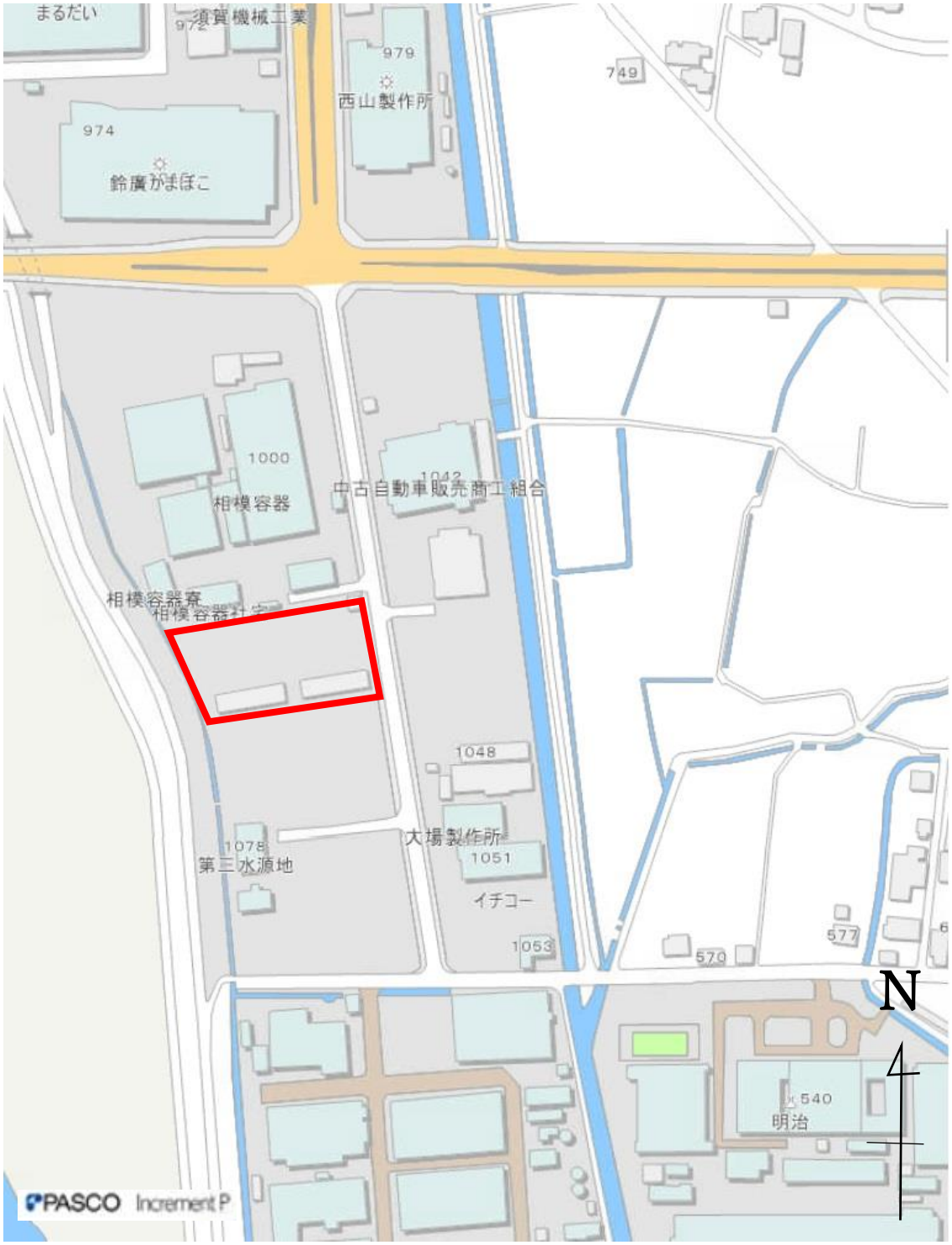
資料１－１


【建設予定地】
小田原市成田 1111 番、
成田 1112 番
N
柳新田
富水駅
岩原
沼田
中曽根
桑原
千代
曽我別所
田島
高田
別堀
成田
小田原
小田原東IC
矢作
中里
府川
穴部
穴部駅
多古
五百羅漢駅
足柄駅
飯泉
鴨宮
鴨宮駅
南鴨宮
酒匂
PASCO
Increment P

建設予定地

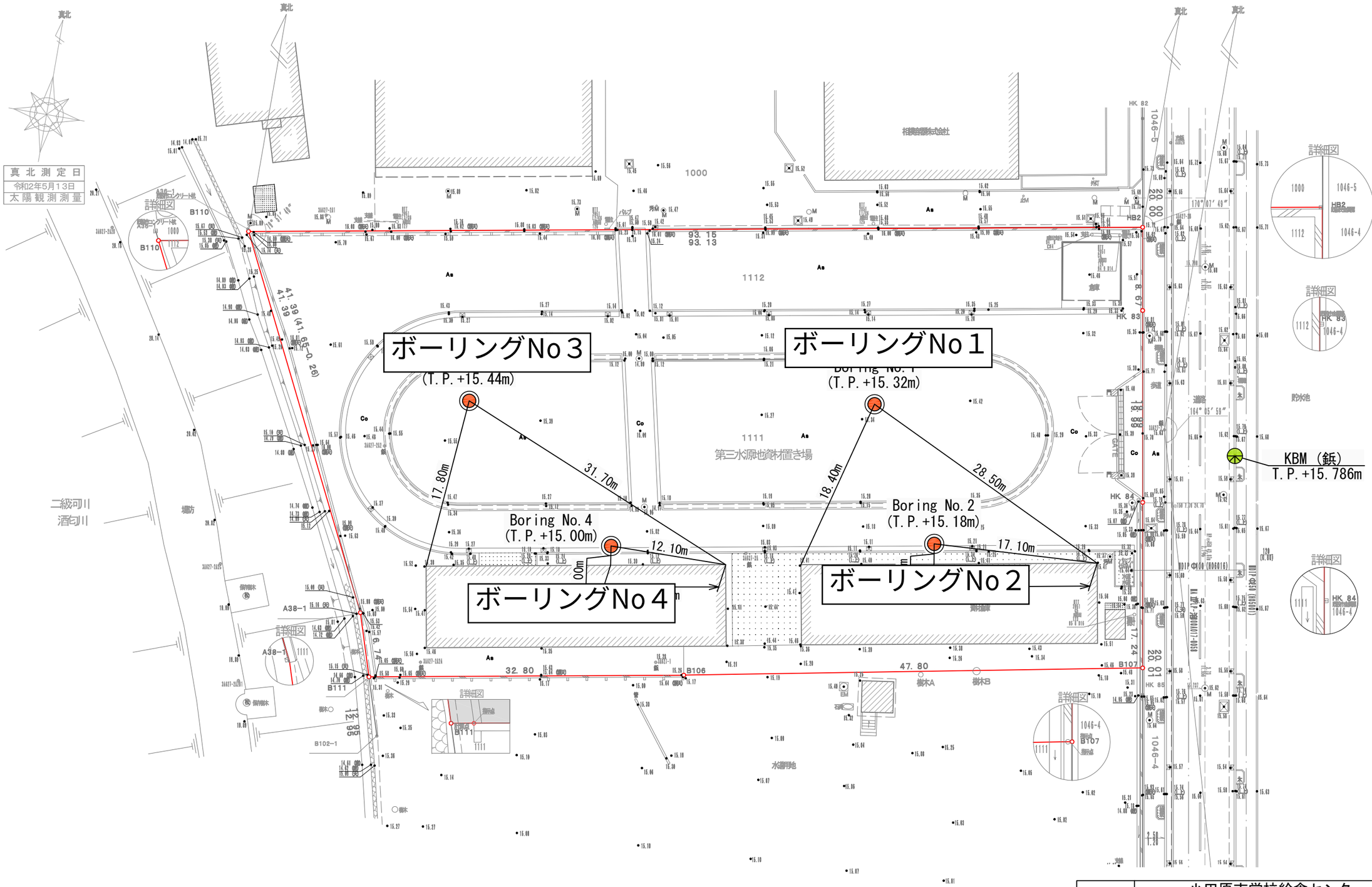
資料１－２

：建設予定地



周辺拡大図

資料２－１



ボーリング柱状図(調査位置)

調査名	小田原市学校給食センター 整備手法検討業務委託に伴う地盤調査		
図　名	調査位置図		
縮　尺	1:400	図 番	図1.1.2
株式会社 東京ソイルリサーチ			

資料２－２

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

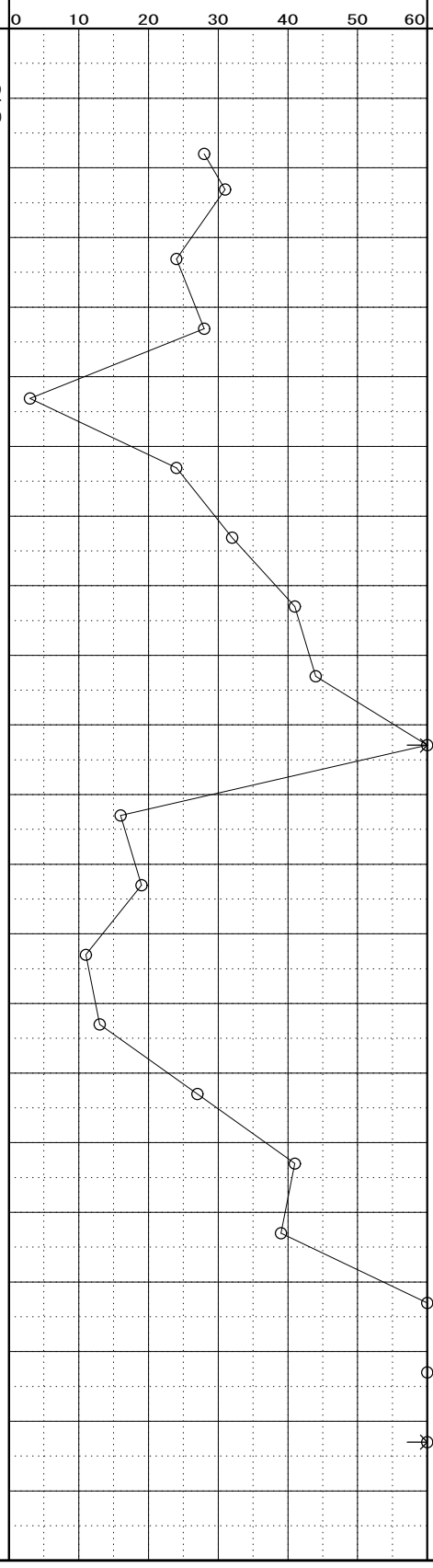
調　　査　　名　小田原市学校給食センター整備手法検討業務委託に伴う地盤調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	1	調査位置	神奈川県小田原市成田1111番、1112番					北緯	35°17'17.56
発注機関	小田原市役所			調査期間	2020年 5月12日～2020年 5月21日			東経	139°09'41.66
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	三浦 崇志 地質調査技士 登録番号： 第16469号	現場代理人	中越 光義 地質調査技士 登録番号： 第8907号	コア鑑定者		ボーリング責任者	石川 駿平
孔口標高	T.P.+15.32m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：扶桑 KR-100HB-2
総削孔長	20.44m								エンジン：ヤンマー TF90V-E　ポンプ：扶桑 V6-C4

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	+15.07	0.25		アスファルト		黒褐				瓦礫混入。	
	+14.72	0.60		砕石		茶灰褐				粘着性強い。不均質。	
1				埋土 瓦礫混じり粘土							5/12 1.60 ▽ 無水掘り水位
2				玉石混じり砂礫		暗青灰	ぐい中らい～密な			亜円～亜角礫φ2～200mm。(φ30～60mm主体)。マトリックスは細砂。含水量高い。崩壊有り。漏水有り。	
3											
4	+10.72	4.60									
5				粘土		暗灰褐		軟らかい		粘着性強い。	
6	+9.22	6.10									
7	+7.72	7.60		砂礫		暗青灰	ぐい中らい～密な			亜円～亜角礫φ2～60mm。(φ10～20mm主体)。マトリックスは細砂。含水量高い。粒径は不均一である。	
8	+6.62	8.70		礫混じり細砂		暗灰	密な			亜円～亜角礫φ2～50mm。(φ5～20mm主体)。含水量高い。粒径は不均一である。	
9	+5.42	9.90		砂礫		暗青灰	密な			亜円～亜角礫φ2～60mm。(φ10～20mm主体)。マトリックスは細砂。含水量高い。	
10	+4.72	10.60		砂礫		暗青灰	非常に密な			亜円～亜角礫φ2～60mm。(φ10～20mm主体)。マトリックスは細砂。含水量高い。	
11				シルト質粘土		暗灰		非常に硬い		所々腐植物不規則に混入。粘着性乏しい。	
12	+2.62	12.70									
13	+1.52	13.80		粘土質シルト		暗灰褐		硬い		所々腐植物不規則に混入。粘着性乏しい。	
14				シルト質細砂		暗灰	ぐい中らい			含水量高い。粒径は不均一である。	
15	+0.02	15.30									
16				細砂		暗灰	密な			含水量高い。粒径は不均一である。	
17	-2.18	17.50									
18	-3.48	18.80		細砂		暗灰	非常に密な			所々円礫(φ5～20mm)不規則に混入。含水量高い。	
19	-4.08	19.40		砂礫		暗青灰				亜円～亜角礫φ2～50mm。マトリックスは細砂。含水量高い。	
20	-5.12	20.44		シルト質細砂		暗灰褐	非常に密な			含水量高い。粒径は不均一である。	
21											



標準貫入試験 N値	深度(m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	60回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
28	1.65	10	11	7	28/300								
31	2.95	10	11	10	31/300								05/12
24	3.15	10	9	5	24/300				P1				
28	4.15	12	9	7	28/300								
3	5.15	1/150	1/90	1/60	3/300			4.90	1	T			05/13
24	6.15	4	8	12	24/300			5.90					
32	7.15	10	11	11	32/300								
41	8.15	12	13	16	41/300				P2				
44	9.15	13	14	17	44/300								
64	10.15	13	25	22/80	60/280	280							
16	11.15	3	5	8	16/300			11.00	2	A			
19	12.15	4	7	8	19/300								
11	13.15	2	3	6	11/300								
13	14.15	2	3	8	13/300				P3				
27	15.15	7	10	10	27/300				P4				
41	16.15	12	14	15	41/300								
39	17.15	10	13	16	39/300				P5				
60	18.15	14	20	26	60/300	300							
60	19.15	23	26	11	60/300	300							
62	20.15	13	17	30/90	60/290	290							05/14

ボーリング柱状図(ボーリングNo１)

資料２－３

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　小田原市学校給食センター整備手法検討業務委託に伴う地盤調査

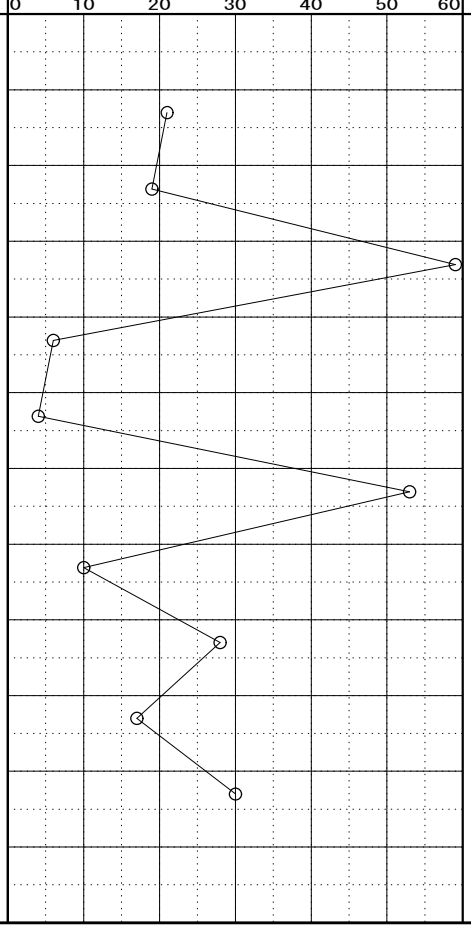
事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	2	調査位置	神奈川県小田原市成田1111番、1112番					北緯	35°17'17.13
発注機関	小田原市役所			調査期間	2020年 5月20日～2020年 5月22日			東経	139°09'42.00
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	三浦 崇志 地質調査技士 登録番号： 第16469号	現場代理人	中越 光義 地質調査技士 登録番号： 第8907号	コア鑑定者		ボーリング責任者	谷口誠一 地質調査技士 登録番号： 第22823号
孔口標高	T.P.+15.18m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0-D
総削孔長	１０．４５ｍ								エンジン：ヤンマー NFD-10-M　ポンプ：カノー V6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	+14.98	0.20		コンクリート		暗灰					
	+14.58	0.60		砕石		暗灰				瓦礫混入	
1 2 3	+11.18	4.00		玉石混じり砂礫		暗灰	中らい～非常に密な			φ3～30㎜程度の亜円～亜角礫主体。φ80～100㎜程度の玉石混入。マトリックスは中砂。含水量高い。2.00～3.00mの色調不均一。	5/21 1.32 無水掘り水位
4 5	+9.48	5.70		シルト		暗灰		中位		所々φ5～10㎜程度の礫混入。粘着性強い。	
6	+8.38	6.80		砂礫		暗灰	非常に密な			φ3～30㎜程度の亜円～亜角礫主体。マトリックスは中砂。含水量高い。	
7	+7.18	8.00		礫混じり細砂		暗青灰	中らい			φ5～20㎜程度の亜円～亜角礫混入。含水量高い。	
8 9 10	+4.73	10.45		砂礫		暗灰	中らい～密な			φ2～30㎜位の亜円～亜角礫主体。マトリックスは中砂。含水量高い。	
11											

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	60回の貫入量	自沈時の貫入量
21	1.15～1.45	8	7	6	21/300		
19	2.15～2.45	6	7	6	19/300		
59	3.15～3.45	22	19	18	59/300		
6	4.15～4.45	2	2	2	6/300		
4	5.15～5.45	1	2/150	1/50	4/300		
53	6.15～6.45	16	16	21	53/300		
10	7.15～7.45	4	3	3	10/300		
28	8.15～8.45	10	9	9	28/300		
17	9.15～9.45	7	6	4	17/300		
30	10.15～10.45	12	12	6	30/300		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					05/21
					05/22

ボーリング柱状図(ボーリングNo２)

資料２－４

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　小田原市学校給食センター整備手法検討業務委託に伴う地盤調査

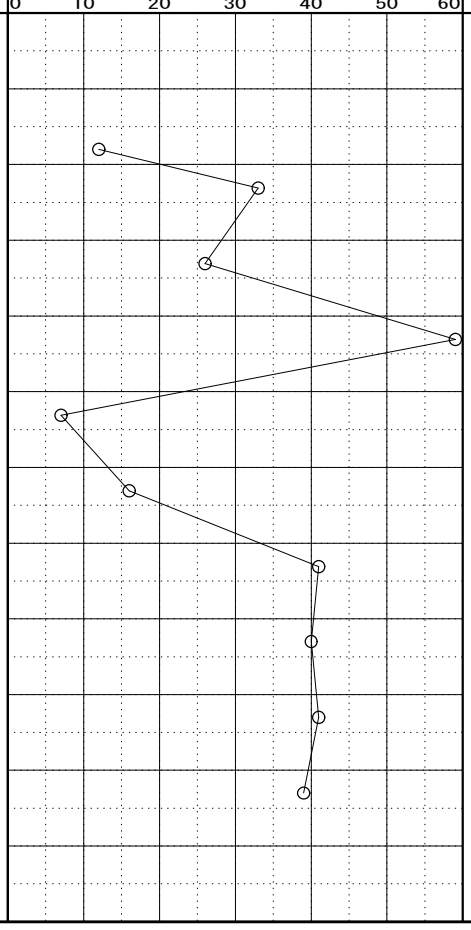
事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	3	調査位置	神奈川県小田原市成田1111番、1112番					北緯	35°17'17.33
発注機関	小田原市役所			調査期間	2020年 5月18日～2020年 5月20日			東経	139°09'40.01
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	三浦 崇志 地質調査技士 登録番号： 第16469号	現場代理人	中越 光義 地質調査技士 登録番号： 第8907号	コア鑑定者		ボーリング責任者	谷口誠一 地質調査技士 登録番号： 第22823号
孔口標高	T.P.+15.44m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D
総削孔長	10.45m								エンジン：ヤンマー NFD-10-M　ポンプ：カノー V6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	+15.39	0.05									
	+14.84	0.60		アスファルト 砕石		暗灰 暗灰				瓦礫混入	
1～5	+9.64	5.80		玉石混じり砂礫		暗灰	緩い～非常に密な			φ5～30㎜位の亜円～亜角礫主体。φ80～100㎜位の玉石混入。マトリックスは中砂。含水量高い。5m付近細粒分を含む。	5/19 1.65 泥水水位
6	+8.54	6.90		シルト混じり細砂		暗灰	ぐにい			粒径不均一。所々シルト塊状に挟む。含水量高い。	
7～10	+4.99	10.45		砂礫		暗灰～褐灰	密な			色調変化あり。φ5～30㎜位の亜円～亜角礫主体。マトリックスは中砂。含水量高い。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	60回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.65～2.05	4	3	5	12/300		
33	2.45～2.85	8	11	14	33/300		
26	3.15～3.45	7	9	10	26/300		
59	4.15～4.45	15	23	21	59/300		
7	5.15～5.45	4	2	1	7/300		
16	6.15～6.45	2	6	8	16/300		
41	7.15～7.45	16	14	11	41/300		
40	8.15～8.45	14	13	13	40/300		
41	9.15～9.45	11	11	19	41/300		
39	10.15～10.45	12	11	16	39/300		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					05/18
					05/19
					05/20

ボーリング柱状図(ボーリングNo３)

資料２－５

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　小田原市学校給食センター整備手法検討業務委託に伴う地盤調査

事業名または工事名

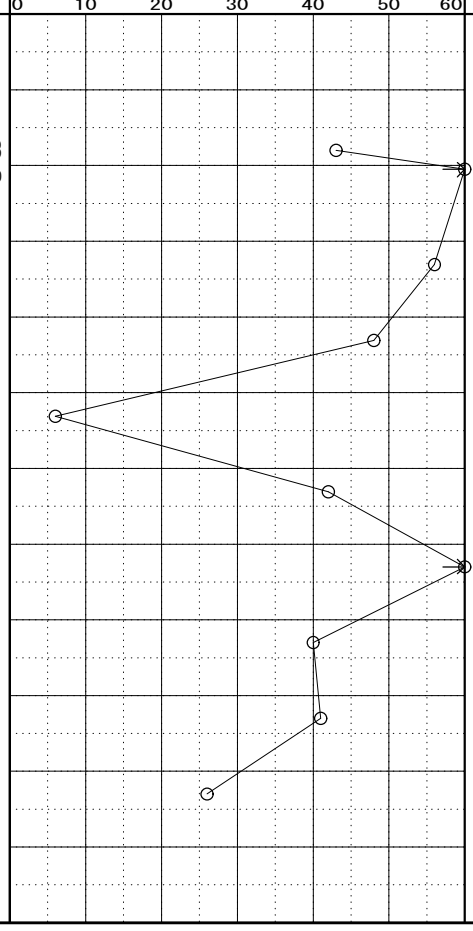
調査目的及び調査対象

ボーリング名	4	調査位置	神奈川県小田原市成田1111番、1112番					北緯	35°17'16.93
発注機関	小田原市役所			調査期間	2020年 5月13日～2020年 5月15日			東経	139°09'40.69
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	三浦 崇志 地質調査技士 登録番号： 第16469号	現場代理人	中越 光義 地質調査技士 登録番号： 第8907号	コア鑑定者		ボーリング責任者	谷口誠一 地質調査技士 登録番号： 第22823号
孔口標高	T.P.+15.00m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0-D
総削孔長	１０．４５ｍ								エンジン：ヤンマー NFD-10-M　ポンプ：カノー V6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	+14.80	0.20		コンクリート		暗灰					
	+14.30	0.70		砕石		暗灰				瓦礫混入。	
1～4	+10.20	4.80		玉石混じり砂礫		暗灰	密～非常に密な			φ３～３０㎜位の亜円～亜角礫主体。 φ８０～１００㎜位の玉石混入。 マトリックスは中砂。含水量高い。	5/13 1.30 無水掘り水位
5	+9.40	5.60		礫混じりシルト		暗灰		中位		φ２～５㎜程度の礫混入。 粘着性強い。	
6～7	+7.20	7.80		玉石混じり砂礫		暗青灰	密～非常に密な			φ３～３０㎜位の亜円～亜角礫主体。 φ６０～８０㎜位の玉石混入。 マトリックスは中砂。含水量高い。	
8～10	+4.55	10.45		砂礫		暗青灰	中位～密ならい			φ３～３０㎜位の亜円～亜角礫主体。 マトリックスは中砂。含水量高い。	
11											

標準貫入試験

N値	深度 (m)	100㎜ごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	60回の貫入量	自沈時の貫入量
43	1.65～2.00	21	13	9	43/60	100	
180	2.00～2.10	60			300/100		
56	3.15～3.45	20	24	12	56/300		
48	4.15～4.45	15	15	18	48/300		
6	5.15～5.45	2	2	2	6/300		
42	6.15～6.45	15	15	12	42/300		
64	7.15～7.43	22	22	16/80	60/280	280	
40	8.15～8.45	15	12	13	40/300		
41	9.15～9.45	15	12	14	41/300		
26	10.15～10.45	13	9	4	26/300		



試料採取

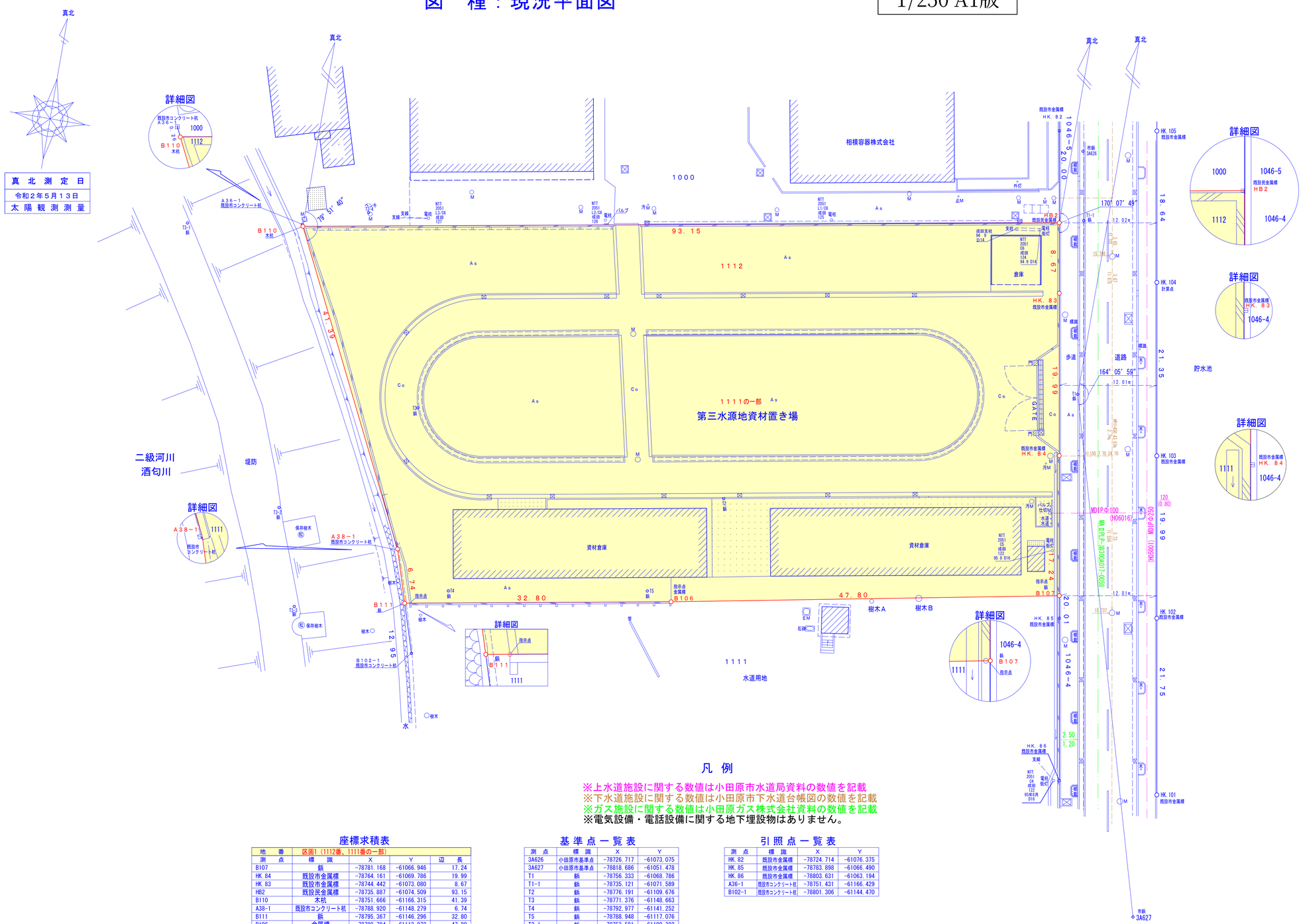
深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					05/13
					05/14
					05/15

ボーリング柱状図(ボーリングNo４)

資料３－１

所在地：神奈川県小田原市成田字堤下1112番、1111番の一部

図　種：現況平面図　　1/250 A1版



凡　例

※上水道施設に関する数値は小田原市水道局資料の数値を記載
※下水道施設に関する数値は小田原市下水道台帳図の数値を記載
※ガス施設に関する数値は小田原ガス株式会社資料の数値を記載
※電気設備・電話設備に関する地下埋設物はありません。

座標求積表

地　番	区画1（1112番、1111番の一部）			
測　点	標　識	X	Y	辺　長
B107	鋲	-78781.168	-61066.946	17.24
HK.84	既設市金属標	-78764.161	-61069.786	19.99
HK.83	既設市金属標	-78744.442	-61073.080	8.67
HB2	既設民金属標	-78735.887	-61074.509	93.15
B110	木杭	-78751.666	-61166.315	41.39
A38-1	既設市コンクリート杭	-78788.920	-61148.279	6.74
B111	鋲	-78795.367	-61146.296	32.80
B106	金属標	-78789.784	-61113.972	47.80
倍　面　積				8001.90639200
面　積				4000.95319600
地　積				4000.95　㎡

基準点一覧表

測　点	標　識	X	Y
3A626	小田原市基準点	-78726.717	-61073.075
3A627	小田原市基準点	-78818.686	-61051.478
T1	鋲	-78756.333	-61068.786
T1-1	鋲	-78735.121	-61071.589
T2	鋲	-78776.191	-61109.676
T3	鋲	-78771.376	-61148.663
T4	鋲	-78792.977	-61141.252
T5	鋲	-78788.948	-61117.076
T3-1	鋲	-78753.591	-61180.382
T3-2	鋲	-78786.297	-61163.508
T3-3	鋲	-78797.995	-61159.649
T3-4	ベンキ	-78748.661	-61158.614

引照点一覧表

測　点	標　識	X	Y
HK.82	既設市金属標	-78724.714	-61076.375
HK.85	既設市金属標	-78783.898	-61066.490
HK.86	既設市金属標	-78803.631	-61063.194
A36-1	既設市コンクリート杭	-78751.431	-61166.429
B102-1	既設市コンクリート杭	-78801.306	-61144.470

測量図(現況平面図)

所在地	神奈川県小田原市成田字堤下1112番、1111番の一部		
図　種	現況平面図	縮　尺	１／２５０
測量日	令和２年　６月１２日	作成日	令和２年　６月１５日
測地系	世界測地系（測地成果2011）	備　考	０．９９９９４６

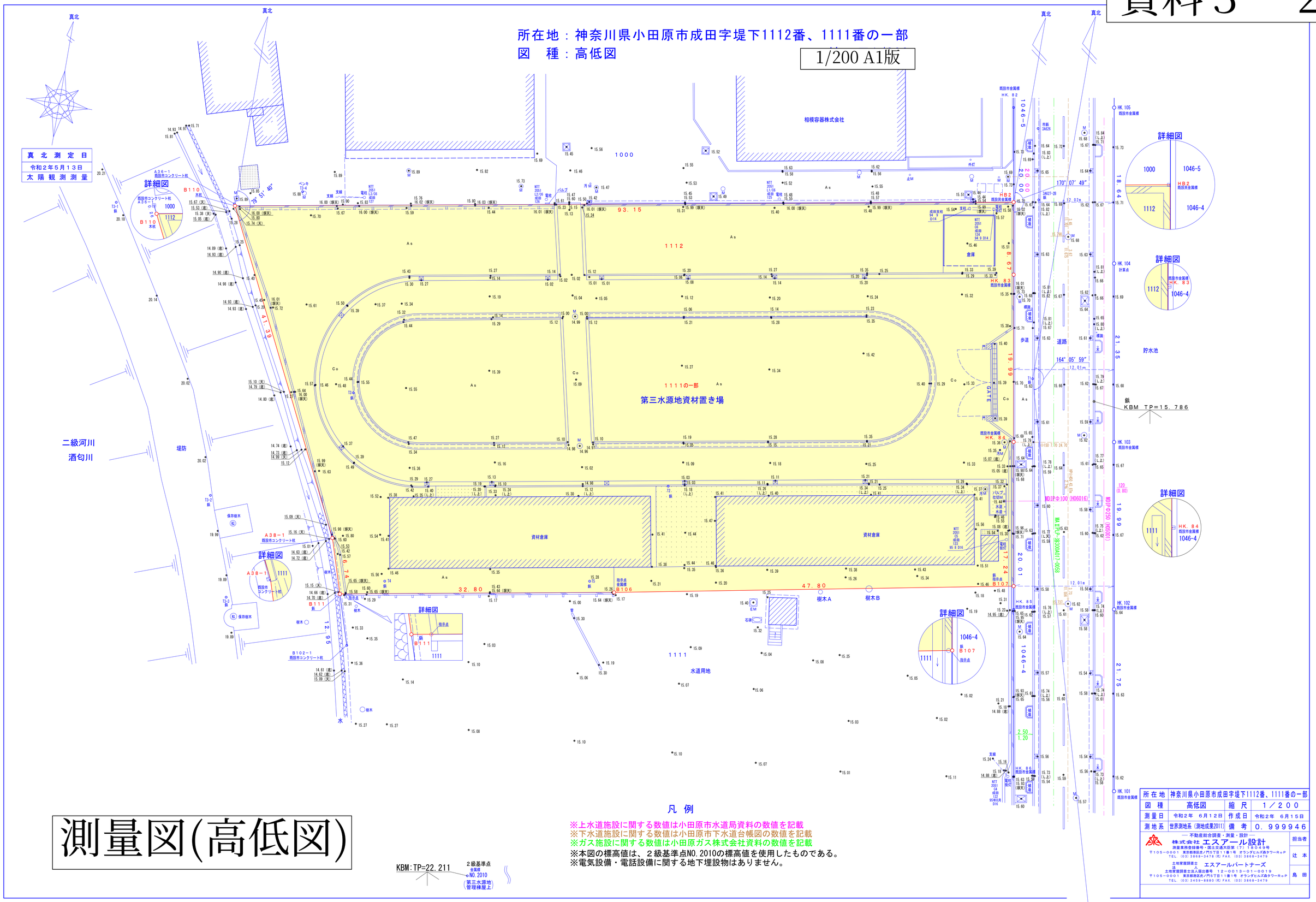
― 不動産総合調査・測量・設計 ―
株式会社 エスアールー設計
測量業務登録番号・国土交通大臣第（７）１９０４９号
〒１０５－０００１　東京都港区虎ノ門５丁目１１番１号　オランダヒルズ森タワーＲｏＰ
ＴＥＬ．（０３）３８６８－３４７８（代）ＦＡＸ．（０３）３８６８－３４７９
土地家屋調査士法人 エスアールパートナーズ
土地家屋調査士法人届出番号　１２－００１３－０１－００１９
〒１０５－０００１　東京都港区虎ノ門５丁目１１番１号　オランダヒルズ森タワーＲｏＰ
ＴＥＬ．（０３）３４５９－８８６０（代）ＦＡＸ．（０３）３８６８－３４７９

担当者
辻　本
島　田

資料３－２

所在地：神奈川県小田原市成田字堤下1112番、1111番の一部
図　種：高低図

1/200 A1版



測量図(高低図)

凡　例

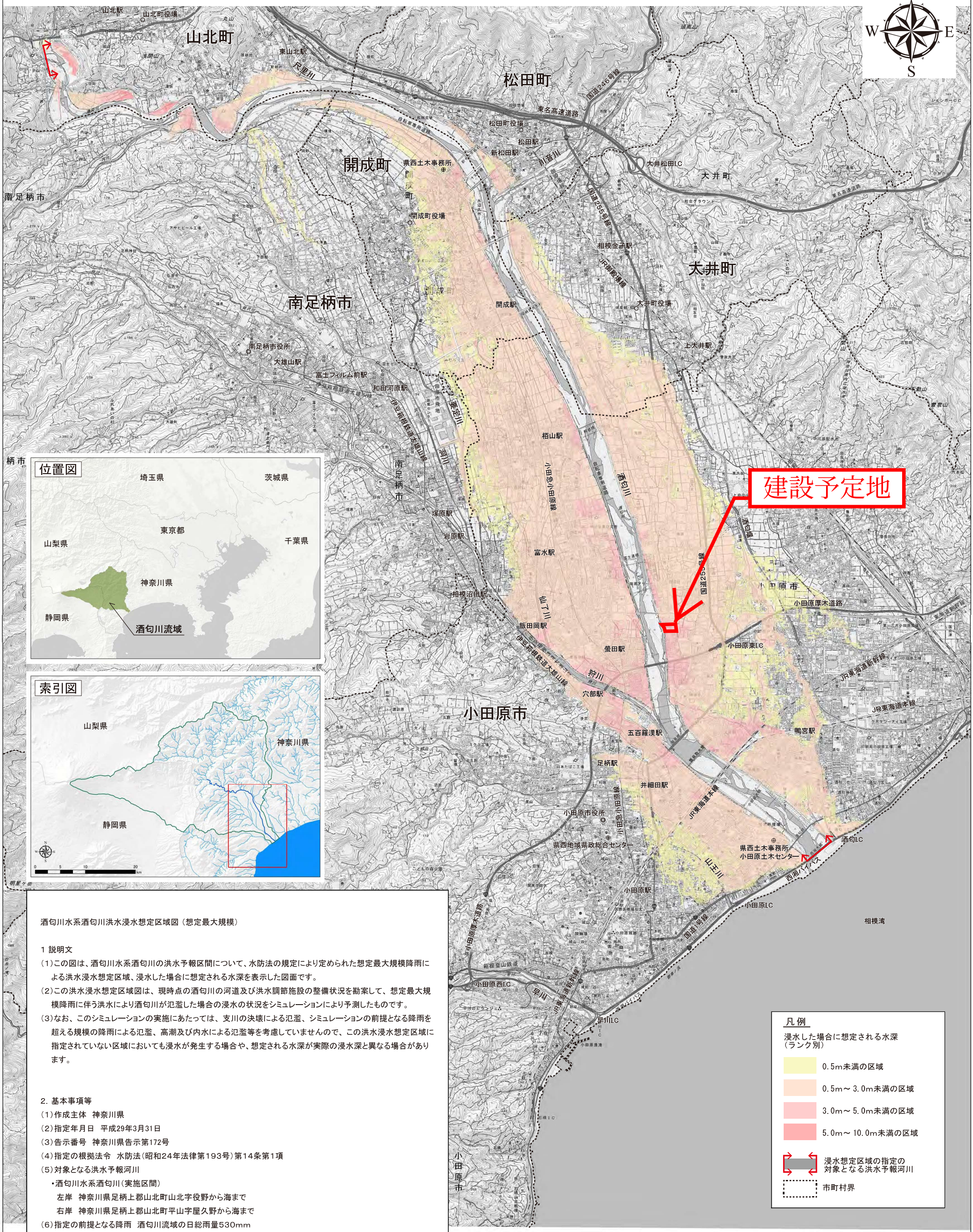
※上水道施設に関する数値は小田原市水道局資料の数値を記載
※下水道施設に関する数値は小田原市下水道台帳図の数値を記載
※ガス施設に関する数値は小田原ガス株式会社資料の数値を記載
※本図の標高値は、２級基準点NO.2010の標高値を使用したものである。
※電気設備・電話設備に関する地下埋設物はありません。

所在地	神奈川県小田原市成田字堤下1112番、1111番の一部		
図　種	高低図	縮　尺	１／２００
測量日	令和２年　６月１２日	作成日	令和２年　６月１５日
測地系	世界測地系（測地成果2011）	備　考	０．９９９９４６

不動産総合調査・測量・設計
株式会社　エス・アール・設計
測量業務登録番号・国土交通大臣第（７）１８０４８号
〒105−0001　東京都港区虎ノ門５丁目１１番１号　オランダヒルズ森タワーＲｏＰ
TEL　(03) 3868−3478 (代) FAX　(03) 3868−3479
土地家屋調査士　エスアールパートナーズ
土地家屋調査士法人届出番号　１２−００１３−０１−００１９
〒105−0001　東京都港区虎ノ門５丁目１１番１号　オランダヒルズ森タワーＲｏＰ
TEL　(03) 3459−8880 (代) FAX　(03) 3868−3479
担当者　辻本　島田

資料４

酒匂川水系酒匂川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



酒匂川水系酒匂川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1 説明文

（1）この図は、酒匂川水系酒匂川の洪水予報区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、現時点の酒匂川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により酒匂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

（1）作成主体　神奈川県

（2）指定年月日　平成29年3月31日

（3）告示番号　神奈川県告示第172号

（4）指定の根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

（5）対象となる洪水予報河川

・酒匂川水系酒匂川（実施区間）

左岸　神奈川県足柄上郡山北町山北字役野から海まで

右岸　神奈川県足柄上郡山北町平山字屋久野から海まで

（6）指定の前提となる降雨　酒匂川流域の日総雨量530mm

（7）関係市町村　小田原市、南足柄市、松田町、大井町、開成町、山北町

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平28情複、第1429号）